

所属名	事務事業名	ページ番号
国際課	国際交流員招致事業（JET事業）	2
国際課	韓国・釜山広域市蓮堤区との交流事業	3
国際課	佐賀市国際交流協会支援事業	4
国際課	フランス・クサック村との交流事業	5
国際課	留学生奨学金給付事業	6
国際課	多文化共生推進経費	7
国際課	日本語学習推進事業	8

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	国際交流員招致事業（JET事業）	事業期間	平成 5 ～ 年度
担当部署・係名	国際課 国際交流係	担当課長名	南雲 千寿
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	多文化共生の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	外国青年招致事業（JETプログラム）を活用して国際交流員を配置することにより、市民の国際交流の進展や異文化理解、地域での多文化共生を推進する。				
事業の対象者	市民				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館等地域での国際理解講座開催 15回 ・学校での異文化理解講座開催 10回 ・市報毎月1日号交流員の連載及び佐賀市国際交流協会発行紙の連載 14回 ・市の行事（事業）の公式通訳・資料等の翻訳 35回 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,075	5,007	4,089	4,824	4,857
うち佐賀市の負担額	0	0	0	4,824	202

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
英語遊び、国際理解講座等の開催						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
33	33 14	50 17	50 29	50 25		

成果指標②						単位
参加者等交流した人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
804	800 264	1,000 290	1,000 715	1,000 633		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	・前年度と比較し実績はほぼ横ばい、目標数値までは至らず。



今後の改善策、対応策等
<ul style="list-style-type: none"> ・講座の開催募集について効果的な周知方法の工夫 ・SNS等での発信による国際交流員の認知度の向上

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	韓国・釜山広域市蓮堤区との交流事業	事業期間	平成 10 ~ 年度
担当部署・係名	国際課 国際交流係	担当課長名	南雲 千寿
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	多文化共生の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	姉妹都市の盟約を結んでいる蓮堤区と訪問団の派遣・受入等を通じて得た交流体験から、異文化への興味関心と理解を深める。				
事業の対象者	市民				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀市内小学校と、蓮堤区内の小中学校による民間交流事業の一部支援（児童訪問団の受入（21名）） ・公式訪問団の派遣事業 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	-	-	763	761	995
うち佐賀市の負担額	-	-	0	0	0

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
訪問団の受入、派遣により交流（異文化体験）できた市民の数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	50 -	50 88	50 52	50 62		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	・例年通り交流事業を実施できたことで、目標達成できた。



今後の改善策、対応策等
<ul style="list-style-type: none"> ・平時からの国際理解講座の開催等による市民への異文化理解の推進や国際交流の啓発 ・公式訪問団受入時の交流プログラムの工夫による交流人数の増加策の検討

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀市国際交流協会支援事業	事業期間	平成 3 ~ 年度
担当部署・係名	国際課 国際交流係	担当課長名	南雲 千寿
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	多文化共生の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市国際交流協会が実施する市民と外国人との交流事業を支援し、市と連携した国際交流、多文化共生事業を推進するために協会運営費の一部を助成する。				
事業の対象者	市民				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 留学生・技能実習生オリエンテーション 5回 国際家庭料理講座 3回 国際理解講座 2回 在住外国人によるパネルディスカッション 1回 初級日本語集中講座 3回 子育て支援事業 6回 スポーツ交流会 1回 バルーンホームステイ事業 1回 グレンズフォールズ市教育交流帰国報告会 1回 				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	11,000	10,775	11,500	10,980	11,500
うち佐賀市の負担額	0	0	0	5,446	0

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
自主事業の開催数						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
23	23 12	25 22	25 19	25 23		

成果指標②						単位
自主事業への参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
375	375 250	400 687	400 680	400 658		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	例年通りの事業を実施することができ、概ね達成することができた。



今後の改善策、対応策等
<ul style="list-style-type: none"> 在住外国人との定期的な連絡調整や、地域の国際化を目指す民間団体との連携が必要 協会で開催する講座やイベントの参加募集について効果的な広報の検討

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	フランス・クサク村との交流事業	事業期間	昭和 63 ~ 年度
担当部署・係名	国際課 国際交流係	担当課長名	南雲 千寿
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	多文化共生の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	姉妹都市の盟約を結んでいるクサク村と訪問団の派遣・受入等を通じて得た交流体験から、異文化への興味関心と理解を深める。				
事業の対象者	市民				
令和6年度 主な活動実績	中学生訪問団の受入を実施（中学生11名、引率者4名の計15名）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	139	162	137	8,741	1,796
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	0

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
訪問団の受入、派遣により交流（異文化体験）できた市民の数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	100 -	50 -	50 12	100 160		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	コロナ禍後の訪問団受入事業を再開できたことにより、交流プログラムによる市民交流が図れたため。



今後の改善策、対応策等
<ul style="list-style-type: none"> ・平時からの国際理解講座の開催等による市民への異文化理解の推進や国際交流の啓発 ・派遣、受入等実施時の広報等事前周知 <p>（成果指標については、訪問団の派遣と受入を交互に実施しているため、受入年の交流が多くなる）</p>

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	留学生奨学金給付事業	事業期間	平成 9 ~ 年度
担当部署・係名	国際課 多文化共生係	担当課長名	南雲 千寿
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	多文化共生の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> 外国人留学生に奨学金を給付することにより、佐賀市での学生生活を経済的に支援する。 奨学生に、市内の国際交流・多文化共生推進活動への協力を促す。 帰国後は、佐賀や日本の良き理解者として国際交流の担い手となるよう期待する。 				
事業の対象者	市内に居住し、市内大学等に在籍する外国人留学生で、大学等の学長の推薦を受ける者				
令和6年度 主な活動実績	奨学生数年15人に月2万円を支給				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,500	4,680	4,580	4,180	3,480
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	3,480

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
給付人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
20	20 20	20 20	18 18	16 15		

Year	Target	Actual
R2	20	20
R3	20	20
R4	20	18
R5	18	18
R6	16	15

成果指標②						単位
国際交流イベント等への参加人数（延べ）						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
29	40 38	60 38	45 24	32 27		

Year	Target	Actual
R2	32	29
R3	40	38
R4	60	38
R5	45	24
R6	32	27

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	佐賀市国際交流協会事業の国際理解講座の講師やスポーツ交流会参加などを通じて、市民同士の顔の見える交流を行った。



今後の改善策、対応策等
<ul style="list-style-type: none"> 留学生を受け入れている学校との情報共有や国際理解講座、イベント等での協働により連携を深める。 地域活動やイベント等に、奨学生や市内の留学生が積極的に参加できるような広報や仕組みを検討する。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

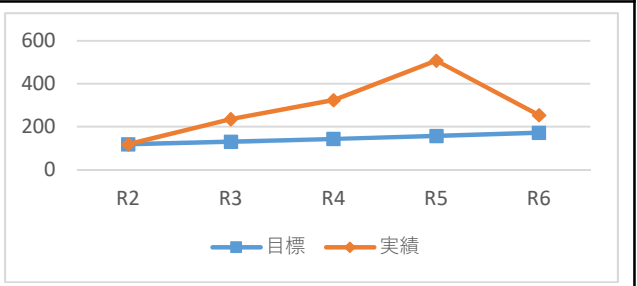
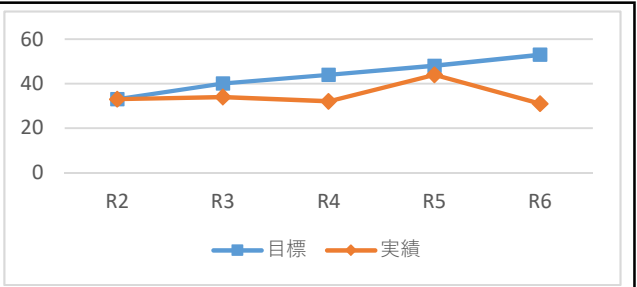
事務事業名	多文化共生推進経費	事業期間	令和 2 ~ 年度
担当部署・係名	国際課 多文化共生係	担当課長名	南雲 千寿
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	多文化共生の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を通して多文化共生を推進し、市民誰もが安心して暮らし続けることができる地域社会を目指す。 ・関係団体と共に地域での交流を支え、在住外国人にもふるさとと感じてもらえるような風土を醸成する。 ・国籍・性別・世代などの違いを超え、市民全てが地域で共に支え合いつなげる共生社会を目指す。 				
事業の対象者	全市民、主に地域のまちづくりに関わる市民、在住外国人と日頃触れ合う機会のある市民				
令和6年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内留学生受入校との「留学生支援にかかる意見交換会」（1回） ・やさしい日本語 市報さが 発行（24回） ・やさしい日本語 職員研修会（1回） ・留学生の「佐賀城下ひなまつり」文化体験（1回） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	755	1,032	805	938	547
うち佐賀市の負担額	0	0	0	938	0

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
多文化共生会議、事業、研修、イベント等の開催・参加回数						回
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	実績
33	34	32	44	44	53	31
成果指標②						単位
やさしい日本語等自主事業・研修等の出席者数						人
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	実績
118	235	324	508	253	172	253



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	まちづくり協議会が実施する多文化共生推進に係る補助事業がR5年度で終了したが、国際交流員による講座など、多文化共生に繋がる新たな機会の創出に努めた。



今後の改善策、対応策等
<ul style="list-style-type: none"> ・国、県等の統計データ、調査結果等により、市在住外国人の現状や課題を把握し、事業内容に反映させる。 ・地域住民と在住外国人がともに交流できる場を創出する。 ・佐賀県国際交流協会や佐賀県多文化共生さが推進課、NPO団体等の方針、取り組みをふまえ、事業の相乗効果を図る。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	日本語学習推進事業	事業期間	令和 4 ~ 年度
担当部署・係名	国際課 多文化共生係	担当課長名	南雲 千寿
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	多文化共生の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	関係法令：日本語教育の推進に関する法律（令和元年法律第48号）第五条（地方公共団体の責務） 在住外国人が日本語を学び、学校・職場・地域において円滑にコミュニケーションを図り生活することができる。 市民が地域の日本語教育を通じて在住外国人と交流し、多様な価値観を理解しつながる環境を整備する。				
事業の対象者	在住外国人、市民				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 日本語支援ボランティア養成講座の実施（3回） （文化庁補助事業）久保泉・春日校区での地域日本語教室の実施（26回） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	-	-	15	63	28
うち佐賀市の負担額	-	-	0	63	0

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
関係会議・研修、交流イベント等の開催・参加回数						回
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	実績
-	-	20	20	20	20	56
		39	54	56		

成果指標②						単位
支援者養成研修、教室活動の参加者・出席者数						人
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	実績
-	-	70	100	150	150	275
		91	255	275		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	文化庁補助事業を活用し、久保泉・春日校区で日本語教室の開催数を増やし実施した。 課題である「日本語教室支援者不足」に対し、支援者養成講座を3回実施した。

今後の改善策、対応策等

- 日本語教室を開催しているボランティア団体と共に、市内の日本語教育環境の充実を図る。
- 在住外国人の日本語学習に対するニーズを把握し、内容の見直し、修正を行いながら参加者増に努める。